

信友会、ゴルフコンペ200回記念 中津川市に水墨画寄贈

懇親会

信友会200回を鏡開きで祝う関係者
＝中津川市駒場、パールティールAI



岐阜信用金庫中津川支店（中津川市淀川町）の取引先などで構成する「信友会」（吉村敏博会長）は、親睦ゴルフコンペが200回に達し、同市駒場のパールティールAIで記念懇親会を開いた。20日には200回記念として水墨画を市に寄贈した。

信友会は同金庫中津川、坂下、付知、恵那の各支店の取引先企業77社が加盟。ゴルフコンペを通じて会員同士の親睦を深めており、ユークリオン中津川ゴルフ倶楽部（同市茄子川）で開かれた200回大会には86人が参加した。

懇親会には、同金庫の好岡政宏理事長ら約90人が出席した。好岡理事長は「トランプ米大統領の就任後いろいろなことが起こり、非常に大変な状況だと伺っている。どんな形でも応援したい」とあいさつ。吉村会長、幸協利幸前会長と一緒に鏡開きして会の発展を願った。

同会は200回記念事業として、同市在住の日本画家可知凜花さんの水墨画を市に贈った。築城500年を迎えた苗木城と市の花・サラサドウダンを描いた作品で、記念式典やPRなどに活用される。（稲木悠司）